

商用貨物便の運航開始

■豪ウエスタンシドニー空港

豪ウエスタンシドニー国際空港（ナ
ンシー・バード・ウォルトン空港、WSI）
で27日、初の商用貨物便の運航が始
まり、24時間稼働の貨物地区が本格
稼働した。カンタス航空（QFA）は27
日夜、WSI発着の国内貨物便の運航
を開始。初日には、テクセルエア（XL
R）の運航便や、豪物流会社チーム・
グローバル・エクスプレス（TGE）の
貨物を輸送する便が発着した。10月
25日の旅客便就航に先行して貨物
機能を立ち上げた格好だ。

貨物地区では、QFA貨物部門のカ
ンタス・フレイト、メンジーズ・アビエ
ーション（以下、メンジーズ）、エミレ
ーツ・グループ傘下のdnataカーゴ、
dnataケータリング&リテールが関

連サービスを提供す
る。27日に発着し
たXLR便とTGE向
け貨物便の貨物ハン
ドリングは、メンジーズが手掛けた。

カンタス・フレイトは、延べ床面積
2万4000平方メートルの新貨物上
屋を利用する。週850トン超の貨物
を取り扱う計画で、eコマース（EC）
や翌日配送などの需要に対応する。
今月13日にはA321F型機による試
験運航を実施し、航空機の受け入れ
や地上業務、システム、貨物搬送手
順などを確認していた。

メンジーズも27日、貨物地区到新
設した延べ床面積1万2500平方メ
ートルの上屋を稼働した。年間最大



24時間稼働の貨物地区が本格稼働した

20万トン进行处理でき、医薬品、生鮮品、
EC貨物、重量貨物などに対応する。

貨物地区の第1期は約73万3000
平方メートルで、開業時点の貨物取
扱能力は年間約25万トン。B747F
型機、B777F型機などを最大8機、
またはB737F型機、A320F型機
などを最大16機、同時に受け入れら
れる。将来的には年間最大180万ト
ンまで処理能力を拡張する計画だ。

WSIは、豪州で50年以上ぶりに新
規開発された主要国際空港。旅客便は
10月25日に運航を開始する予定だ。